

## 平成25年度補助金等概要報告書

法人名	公益社団法人日本動物用医薬品協会
-----	------------------

(1) 年間収入(総収入－前期繰越金)	81,017 千円(A)		
(2) 補助金等の交付実績額			
名称	補助金・委託費の別	交付官庁	金額
食の安全・消費者の信頼確保対策事業	補助金	農林水産省	19,595 千円
			千円
			千円
合計			19,595 千円(B)
(3) 補助金等の年収比率		24% (B/A)	

3. 交付先の団体の名称	公益社団法人日本動物用医薬品協会	
4. 交付実績額	19,595 千円 (A)	
5. 補助金等における管理費		
(1) 人件費	9,914 千円	
(2) 一般管理費	千円	
(3) その他の管理費		
合 計	9,914 千円	
6. 外部への支出		
(1) 外部に再補助等されているものに関する支出		
支 出 内 容	支 出 先	金 額
		0 千円
合 計		0 千円 (B)
(2) (1)以外の支出		
支 出 内 容	支 出 先	金 額
委員謝金	委員	600 千円
委員旅費	委員	782 千円
会議費	会場使用先	23 千円
会場借料	会場使用先	69 千円
報告書印刷費	印刷会社	1,015 千円
原稿料	委員	33 千円
ソフトウェア作成費	ソフトウェア作成会社	810 千円
翻訳料	翻訳・通訳会社	1,139 千円
通訳料	翻訳・通訳会社	3,087 千円
通訳の器材費	翻訳・通訳会社	1,330 千円
通信運搬費	電話会社等	93 千円
消耗品費	文房具店等	545 千円
振込手数料	銀行等	31 千円
未払消費税	税務署	124 千円
合 計		9,681 千円
7. その他		
内 容	金 額	
	千円	
	千円	
	千円	
合 計	千円	
8. 再補助等の割合	0% (B/A)	

平成25年度補助金等支出明細書

1. 補助金等の名称	食の安全・消費者の信頼確保対策事業補助金
2. 事業の目的及び内容	
(1) 目的	<p>動物用医薬品国際基準等対策事業 承認審査資料に関する日・米・欧の3極による国際基準及び試験法ガイドラインの作成のための情報収集・分析、調査・試験の実施と国際会議の開催を行い、適正な審査資料の作成及び承認審査の促進に資することを目的とする。</p> <p>動物用生物学的製剤基準国際化対策事業 動物用生物学的製剤基準は製剤毎に規定されているが、諸外国の同様な規格基準では成分毎に分類するモノグラフにより整理される他、成分の混合に関する基準を定めている。この基準の検討により、ワクチンの研究開発や承認申請及び審査の効率化を図ることを目的とする。</p> <p>抗菌性物質薬剤耐性菌評価情報整備事業 スルホンアミド系抗菌性物質製剤について、食品健康影響評価に必要な資料の作成と報告書の提出と共に、アミノグリコシド系抗生物質の耐性菌評価情報の資料の調査を目的とする。</p> <p>動物用医薬品の承認申請資料作成のためのガイドライン作成事業 動物用医療機器申請書等モックアップ案を作成する事を目的とする。</p>
(2) 具体的な内容	<p>動物用医薬品国際基準等対策事業 国内検討体制として大学等の学識経験者他の専門家により「動物用医薬品承認基準国際化対応研究委員会」を組織し、国際協議の対象となるトピックについて効果的・効率的に検討され、各作業部会への専門家の派遣、必要な国内外の規制情報等の翻訳と提供を行う。</p> <p>動物用生物学的製剤基準国際化対策事業 海外規制措置実態調査結果を参考に、動物用生物学的製剤モノグラフの構成原案、疾病別各条基準原案、各条モデル製剤等の英語翻訳原案を作成する。</p> <p>抗菌性物質薬剤耐性菌評価情報整備事業 スルホンアミド系抗菌性物質では、食品健康影響評価情報担当者会議を開催し、各製剤の基本情報を収集・整理し、薬剤感受性成績等学術文献の収集、薬物体内動態資料の収集・整理を行い、報告書を作成する。 アミノグリコシド系抗生物質では、担当者会議を開催し、各製剤の情報収集・整理すると共に翻訳等を行い文献等の収集整理を行う。</p> <p>動物用医薬品の承認申請資料作成のためのガイドライン作成事業 動物用医療機器のうち動物用X線撮影装置の申請書本文及び添付資料のモックアップを作成する。</p>